

# 木とふれあう、木に学ぶ、木と生きる

地域に根ざす住まいのインストラクター — 株式会社やすむら—

## 「木とふれあう」木育プロジェクト

加古川市で建設工事業を営む株式会社やすむらの代表取締役・安村義光さんが、地域の同業者と「協同組合」の木ネットワークを設立したのは10年前。それ以来、兵庫県産材と国産材の利用による地産地消を推進しながら、間伐材や建築廃材の有効利用と「木育」とを組み合わせて、「木とふれあう、木に学ぶ、木と生きる」を理念とした実践を行っている。

「木育」とは、市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶことを狙いとした概念だ。

平成24年から学校や公民館等で開催している「木育講座」では、安村さんが「報徳の精神」で



二宮金次郎に扮した安村さん

知られる二宮金次郎に自ら扮して、山の話や木の使い方などを説明する。そ

の衣装も、社員をはじめ地域の方々の協力で作ったものだ。併せて実施する木工教室では、子どもたちが本立てや箸、コースターを作り、社員が技術指導を行う。直接地域や学校に向くことでつながりを増やし、子どもたちが木材に触れ、ものづくりの楽しさを体験しながら、木について学ぶ機会をつくっている。また、講座で使用する素材の加工や梱包等を、高齢者・障害者施設と連携して行い、地域雇用の促進を目指したいと考えている。



カンナを使って「マイ箸」づくり!

## 「長く続けることが「社会貢献」

安村さんは、木育以外にもさまざまな活動に携わっている。地域を担う次世代の子どもたちを心豊かな社会人に育てるために、親や周囲の大人が変わらなくてはいけないの思いから、PTA役員が揃って「みなのかい」として

ボランティア団体をつくった。幼少期の子どもを持つ保護者を対象に、育児に関する講演とグループ討論を定期的に行い、人に対する優しさや道徳心を持ち続けることの大切さを伝えている。普段、相談できる人のいない若い保護者からは、「みなのかい」での意見交換の場で悩みが解消したと好評を得ている。

「地域での活動は継続を考えねばならない。長続きすること、それが地域や人のためになる」と話す安村さん。地域に恩返しをしたいという思いから、地域を良くするための取り組みを自分たちが進めていくことが必要と考えている。今後も同社では、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいきたい。

### 株式会社やすむら

所在地 加古川市野口町野口795-11  
TEL 079-426-3294  
URL <http://www.kk-yasumura.com/>